



クラスだより

令和3年9月30日
小田原市立前羽幼稚園

10月はこんなことして遊びたいな

- <年少> ○友達と一緒にたくさん運動遊びを楽しもう。
○秋の自然に触れたい遊びに取り入れたいしよう。
- <年長> ○友達と一緒に遊びを進める楽しさを味わおう。
○感じたことなどをいろいろな方法で表現しよう。

げんき畑のサツマイモ

げんき畑が大変だ！

「げんき畑のサツマイモがイノシシに食べられた。」という情報が入りました。急いで畑に行くと、マルチは掘り返され、育ち途中だったサツマイモは食べられてしまいました。「みんなで育てたのにね…」「柵に電気が通っていなかったからかな。」という意見が出る中、「イノシシが食べられる用の畑を別につくったらよかったのかな？」という、生き物を思う優しい声も聞かれました。畑が荒らされたままではいけないと、翌日みんなで片付けに来ることにしました。

ツルはどうしたらいいかな…？

「大きく育ったツルを捨てるのはもったいない…」と考えた年長さんが、ツルを使って遊べることを年少さんに教えてくれたので、幼稚園に持って帰ることにしました。



「みんなで運ぶよ！セーの！」
「わっしょい！」「こんなに大きく育っていたんだね！」と、ツルの多さに驚きました。



小さなサツマイモを発見すると「まだあるかな？」とサツマイモ探しに夢中になっていました。

ツル遊びをしよう！

幼稚園の園庭でツルを広げると、次から次へといういろいろな遊びのイメージが膨らみました。



綱引きやるよ！真ん中の線も書こう。よーい、どん！

汽車が通りますよー！乗る人はいますか？



ツルを使っているいろいろな物がつくれます。アクセサリー、リース…とても集中しています。

栽培活動を通して、食への関心だけでなく、食べ物をつくる大変さ、生き物と共存することなど、たくさん学び、考える幼児の姿がありました。そして、「どうして畑は荒らされたのかな？」と問題に向き合うと共に、「残っているツルを使って何かできないかな？」と様々な発想を巡らせ、楽しい遊びに変えてしまう、子どもたちの力にも驚かされました。

まえはミニリンピックに向けて ～これまでの取り組み～

リズムやリレーなど、運動遊びをみんなで楽しむ中で、「自分たちが頑張っている姿を家の人に見せたい！」と意見が出ました。感染症が拡大する中、年長さんが中心となり、みんなで「どうしたら家の人に見てもらえるか？」話し合いをしました。これまで行ってきた感染対策を徹底し、“ミニリンピック”という形で行うことになりました。

“ミニリンピック”の開催が決定すると、子どもたちの勢いは止まりません。「今日はリレーをやりたい！」「リズムは、衣装をつくらなきゃいいんじゃない？」「司会も自分たちでやろうよ！」と、毎日少しずつ、考えを出し合っているいろいろなことに取り組んできました。

リレー

どちらが勝つか、毎回真剣勝負です。「家で走る練習をした！」という声も聞かれました。



リズム

第1学期から親しんできた「ぼくらは小さな海賊だ！」は、衣装も一人一人が海賊をイメージして丁寧に作りしました。



親子競技

オリンピックへの関心から「聖火リレーごっこ」をすると「家の人ともやりたい！」と意見が挙がり、親子競技で行うことになりました。

折り返し用ボールは、開催国である日本の東京タワーとフランス(次回)のエッフェル塔をイメージして製作しました。



競技の他にも、司会や係など、一人一人が生懸命に取り組んでいました。年少さんは、みんなと活動したり、体を動かしたりする楽しさを感じ、年長さんから刺激を受けながら「やってみよう！」と意欲的に取り組んでいました。年長さんは、昨年の運動会の経験を生かし、「今年は自分たちが引っ張っていきんだ！」と張り切って活動に取り組む姿が見られました。繰り返し活動を行う中で、友達と声を掛け合ったり、自分たちで考えて行動したりする姿に、子どもたちの成長を感じる場面がたくさんありました。保護者の皆様には、ミニリンピックに向けた活動にご理解、ご協力いただき、ありがとうございました。